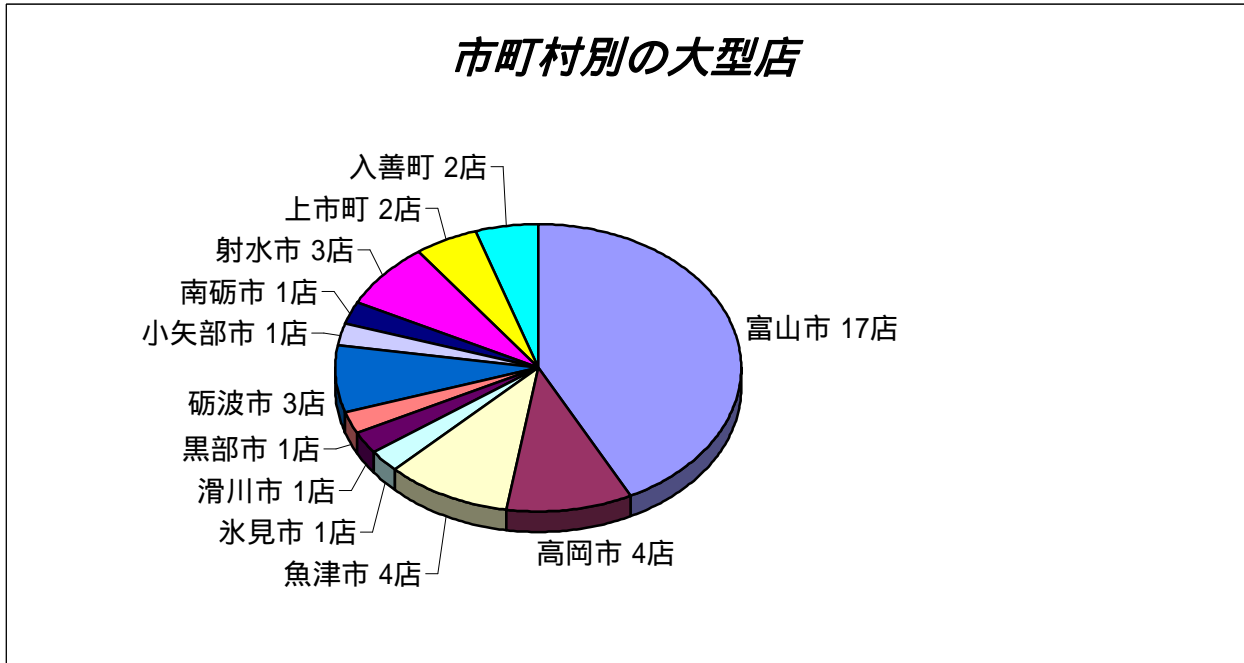


# 1 . 県内大型店（店舗面積6,000㎡以上の40店）の概要

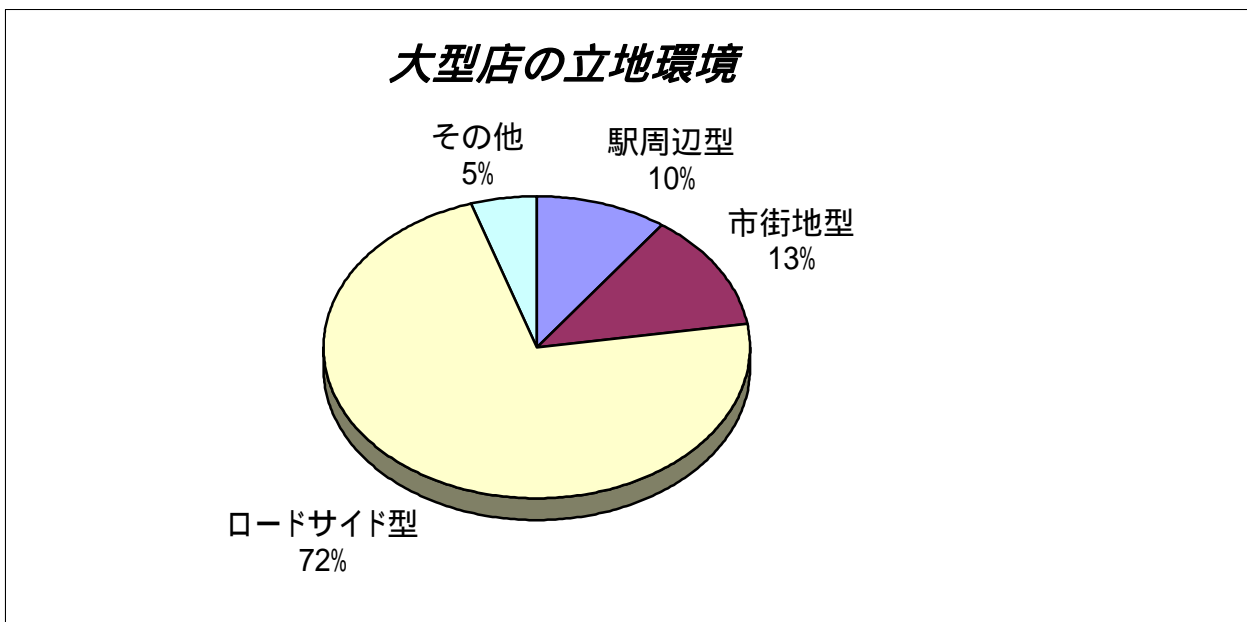
## (1)市町村別の大型店

市町村別の大型店立地状況をみると、県内15市町村中12市町に立地しており、立地件数は富山市が17店と4割以上(42%)を占め、高岡市と魚津市に4店、射水市と砺波市に3店立地している。



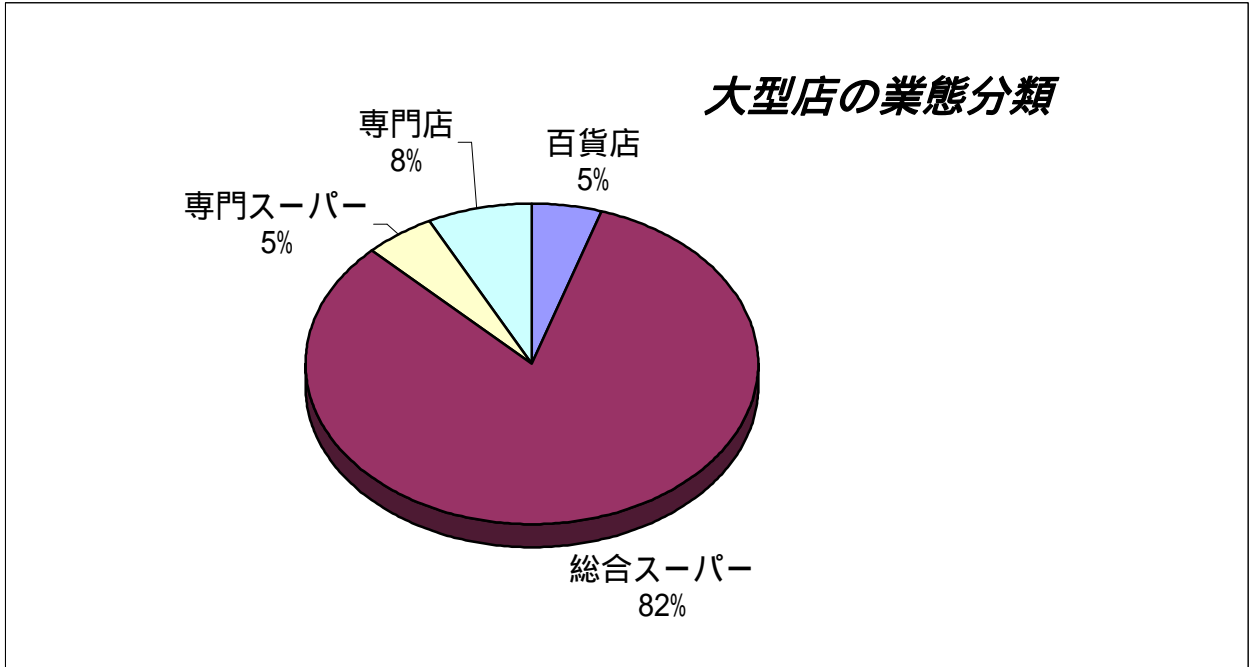
## (2)大型店の立地環境

大型店の立地環境をみると、ロードサイド型が72%(29店)と7割以上を占め、駅周辺型(4店)と市街地型(5店)を合わせた中心部の立地より、郊外での立地が3倍以上となっている。



### (3)大型店の業態分類

大型店の業態分類をみると、総合スーパーが8割以上(33店)を占めている。  
 専門スーパー(2店)はホームセンター、専門店(3店)は住関連専門店である。



立地環境と業態分類の関係でみると、ロードサイド型の総合スーパーが全体の半数以上(60%)を占めている。

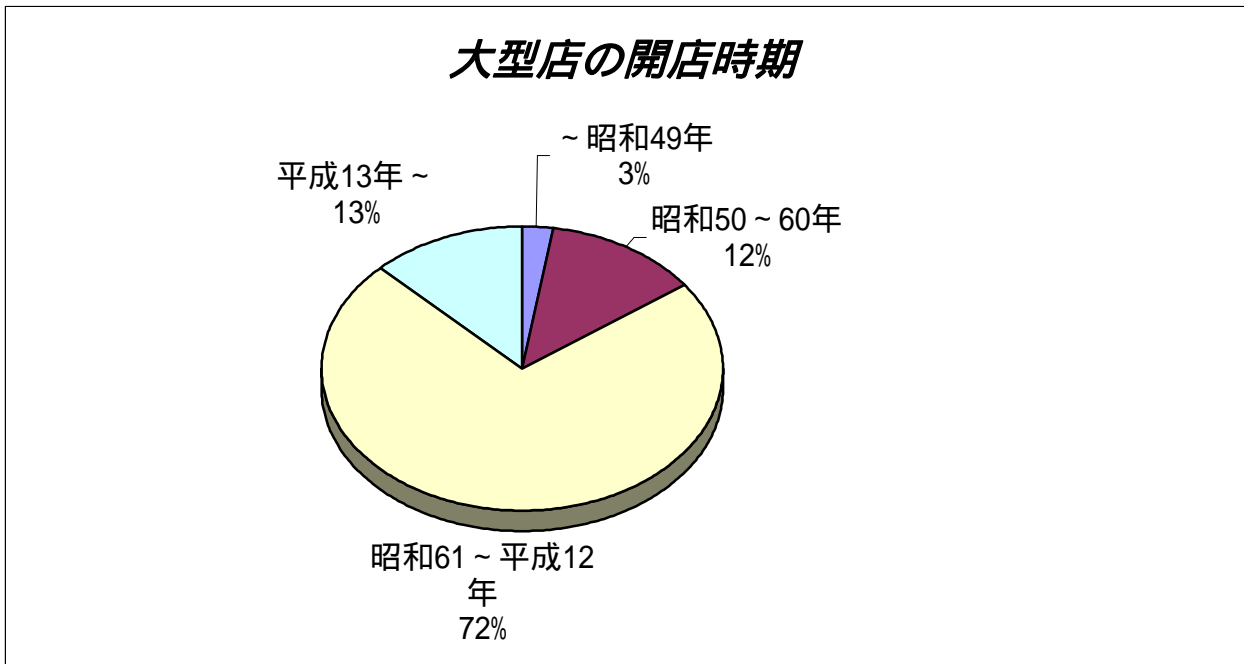
(上段：店舗数、下段：%)

	百貨店	総合スーパー	専門スーパー	専門店	その他	合計
駅周辺型	-	4	-	-	-	4
	-	10.0	-	-	-	10.0
市街地型	2	3	-	-	-	5
	5.0	7.5	-	-	-	12.5
ロードサイド型	-	24	2	3	-	29
	-	60.0	5.0	7.5	-	72.5
その他	-	2	-	-	-	2
	-	5.0	-	-	-	5.0
合計	2	33	2	3	0	40
	5.0	82.5	5.0	7.5	0.0	100.0

#### (4)大型店の開店時期

大型店の開店時期をみると、昭和61年～平成12年に開店した店舗が7割以上(29店)を占めている。

立地法施行後となる平成13年以降に開店した店舗は5店となっている。



開店時期区分	...	～S49	百貨店法廃止、大店法施行以前
		S50～60	大店法の運用強化時期
		S61～H12	大店法の規制緩和時期
		H13～	大店法廃止、立地法施行以後

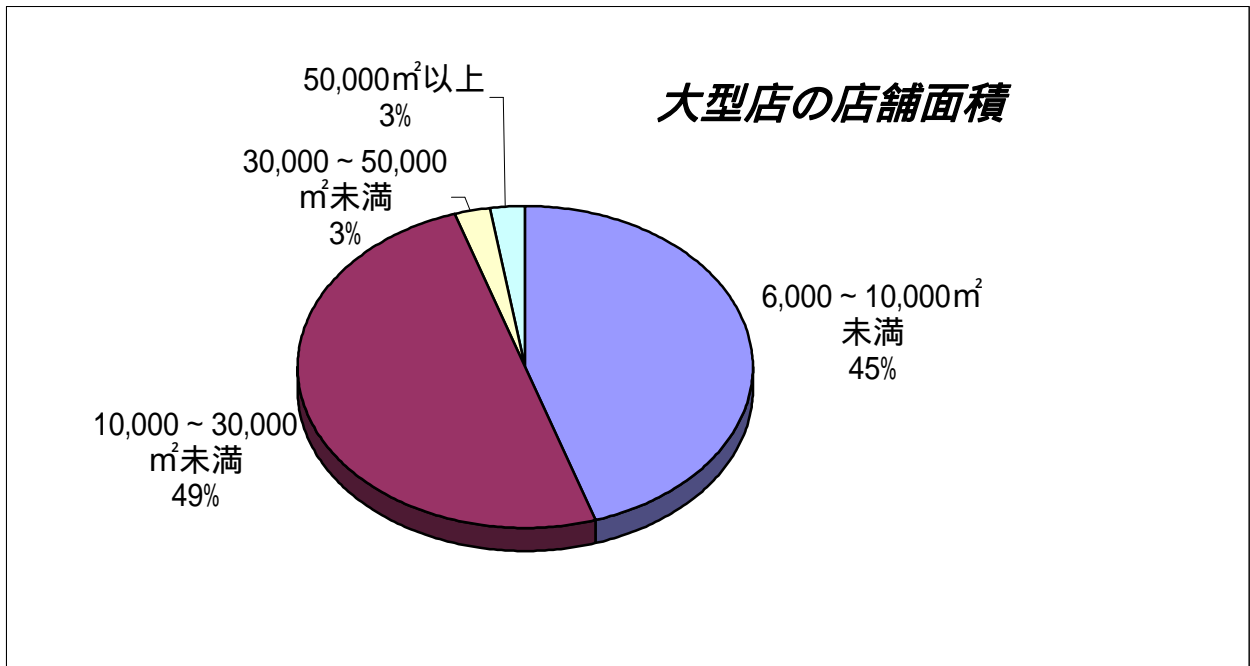
開店時期と立地環境の関係をみると、昭和61年からH12年の間にロードサイドへの出店が集中している。

(上段：店舗数、下段：%)

	駅周辺型	市街地型	ロードサイド型	その他	合計
～S49	-	1	-	-	1
	-	2.5	-	-	2.5
S50～60	-	1	3	1	5
	-	2.5	7.5	2.5	12.5
S61～H12	4	2	23	-	29
	10.0	5.0	57.5	-	72.5
H13～	-	1	3	1	5
	-	2.5	7.5	2.5	12.5
合計	4	5	29	2	40
	10.0	12.5	72.5	5.0	100.0

### (5)大型店の店舗面積

大型店の店舗面積をみると、10,000㎡未満が20店と半数を占め、次いで6,000～10,000㎡未満が18店あり、大型店のほとんどは30,000㎡未満である。



店舗面積と立地環境の関係をみると、10,000㎡未満でロードサイドに立地している店舗が全体の4割以上(42.5%)を占めている。

(上段：店舗数、下段：%)

	駅周辺型	市街地型	ロードサイド型	その他	合計
6,000 ~ 10,000㎡未満	-	-	17	1	18
	-	-	42.5	2.5	45.0
10,000 ~ 30,000㎡未満	4	4	11	1	20
	10.0	10.0	27.5	2.5	50.0
30,000 ~ 50,000㎡未満	-	-	1	-	1
	-	-	2.5	-	2.5
50,000㎡以上	-	1	-	-	1
	-	2.5	-	-	2.5
合計	4	5	29	2	40
	10.0	12.5	72.5	5.0	100.0

店舗面積と開店時期の関係をみると、S61～H12年に開店した30,000㎡未満の店舗が全体の7割を占める。

(上段：店舗数、下段：%)

	～S49	S50～60	S61～H12	H13～	合計
6,000～ 10,000㎡ 未満	-	2	13	3	18
	-	5.0	32.5	7.5	45.0
10,000～ 30,000㎡ 未満	1	3	15	1	20
	2.5	7.5	37.5	2.5	50.0
30,000～ 50,000㎡ 未満	-	-	1	-	1
	-	-	2.5	-	2.5
50,000㎡ 以上	-	-	-	1	1
	-	-	-	2.5	2.5
合計	1	5	29	5	40
	2.5	12.5	72.5	12.5	100.0